

さかいまち 議会だより

No. 165

平成26年2月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



境達磨市

議会議長 関 稔



平成26年最初の「議会だより」発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆さまには、日頃から境町議会に対し、ご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。昨年は、東日本大震災の復興が思うように進まない中、伊豆大島や国内各地で大きな自然災害が発生し、多くの方々の平穏な日常生活が、一瞬のうちに奪われました。一日も早い復興を祈念するとともに、日本が元氣を取り戻し、明るい夢や希望を抱ける年になりますことを心から願っております。

また、この深く悲しい出来事を契機として、今、改めて地域の人々が支え合うことの重要性が再認識されております。

一方、2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催が決定したという喜ばしい話題もございました。オリンピック・パラリンピックがもたらす人間の持つ可能性への限りない信頼は、大きな力となるはずです。さらには、震災からの復興を成し遂げた姿と、全世界の人々をおもてなしすることは、世界中から寄せられた支援に対する感謝の気持ちを表す最も効果的なものでもあります。

さて、圏央道関係ですが、境（仮称）インターチェンジの名称が昨年12月に正式決定されまして、「境古河インターチェンジ」と命名され、当インターチェンジまでの開通が平成26年度との公式発表がありました。議会は、昨年の改選から半年以上経過し、その間、圏央道周辺開発調査特別委員会を設置し、税収や雇用の拡大など、圏央道の波及効果を最大限まちづくりに生かすための施策を協議、検討しております。

また、これまでの社会・経済情勢を鑑み、議員一人一人の資質の向上に努めるとともに町経費の削減に協力をしてまいりました。

しかし、いまだに厳しい経済状況の中、行政改革の一環として、昨年12月定例会において、議員定数を現行の14名より1名を削減して、13名とする条例改正を行ったところです。

更には、基幹産業である農業の振興や商工業の活性化、高齢者・住民福祉、少子化対策など、境町発展のための課題の解決に向け日々取り組んでおります。

私たち議員一同、町民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し決意も新たに、安心安全で思いやりのある境町の実現に向けて取り組みより豊かで魅力あるまちづくりに全力で尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いからお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様にとって、実り多き年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞ、よろしく願っています。